

ジャズの調べに聴き入る

盛岡市長田町の岩手中(和田健一郎校長、生徒42人)で26日、県芸術文化協会(柴田和子会長)主催の芸術鑑賞会が開かれた。同市在住のピアノニスト、鈴木牧子さん率いるジャズカルテットが演奏を披露。多くの生徒が、初めて触れるジャズの魅力に引き込まれていた。

岩手中で芸術鑑賞会

吹奏楽部の生徒との協演も

鑑賞会には、1〜3年生が参加。鈴木牧子ジャズカルテットはピアノ、ドラム、ウッドミール・トゥー・ザムさん(3年)は「演奏

ベース、トランペット、兼パーカッションの4人編成で、計8曲を披露した。スタンダード・ナンバーの「A列車で行こう」に始まり、「モーニング」や「白雪姫」など、演奏家との協演を



敬する。プロとの協演は新鮮で、「こちらの吹き方に合わせてくれた参考になった。きょうの演奏を生かして練習し、即興ができるくらいうまくになりたい」と話していた。

鑑賞会は、同協会の「いわて芸術家派遣事業」によるもの。県内の芸術家を小中、特別支援学校に派遣し、生の芸術文化に触れる機会を提供するとともに、芸術家の人材活用と育成を図る。今年度はオーケストラや三曲、能楽など8団体を13校に派遣予定。

同協会の佐々木仁志事務局長は「ただ演奏を聴くだけでなく、芸術家の方と触れ合う機会にもなれば。最近では伝統芸能の派遣依頼も増えている。文化継承にもつながってほしい」と期待していた。

吹奏楽部も参加してのジャズ演奏